

。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2019. 5. 28

下水道機構の『新技術情報』 第381号

(公財) 日本下水道新技術機構 <https://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

先週や今日は30度を超える気温になっています。

気温が高くなり始める頃は、汗をかきづらい体質になっていて、上手く体温調節ができな  
いと言われています。

本格的な夏が来る前に、汗をかく練習を積極的に行って熱中症になりづらい体作りをし  
てみてはいかがでしょうか？

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第381号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

#### ◆◆◆トピックス◆◆◆

##### ■インフォメーション

- ・6月1日に下水道機構ホームページのメンテナンスを行います！

##### ■機構の動き

- ・今週はありません

##### ■Tea Break

- ・ウイスキーの魅力（のぶりんさんからの投稿です）

##### ■研究成果のおさらい

- ・下水汚泥由来肥料の安全安心性確認研究
- ・下水処理場における地域バイオマス利活用に向けた広報資料作成支援業務

##### ■ピックアップ！機構情報

- ・講演ダイジェスト  
(特別講演「官民連携（PPP/PFI）の推進について」)

##### ■はしわたし

- ・今週はありません

##### ■国からの情報

- ・5/17付下水道ホットインフォメーション

。○。○。

インフォメーション (最新の話です)

。○。○。

#### ●6月1日に下水道機構ホームページのメンテナンスを行います！

日 時：令和元年6月1日

時 刻：9:00~17:30

備 考：作業時間内は機構ホームページが閲覧出来ない場合があります。

---

機構の行事予定

---

○第 382 回技術サロンを開催します！

日 時：令和元年 6 月 13 日(木) 16:00~17:00

場 所：機構 8 階 中会議室

講演者：国土交通省 国土技術政策総合研究所 下水道研究部

下水道エネルギー・機能復旧研究官 高村 和典氏

テーマ：省エネ技術導入による下水処理場の電力消費量削減効果の検討（仮）

※詳細及び参加申し込みはこちら

<https://www.jiwet.or.jp/salon382>

○技術マニュアル活用講習会を 6/21(金)東京、6/25(火)大阪で開催します

民間企業と共同で研究した新技術を紹介するため、技術マニュアル活用講習会を開催しています。新技術を採用する上で、その内容をより深くご理解いただき、有効に活用しやすいよう、講習会に参加する皆様に技術マニュアル等を配布し、研究担当者がパワーポイント画面により図・表を多用して分かりやすく説明しています。多数の皆さまのご参加をお待ちしております。

対象技術マニュアル等：

「自立管 製管工法（ら旋巻管）に関する技術資料」

「下水道管路管理の包括的民間委託推進マニュアル（案）」

「下水道管きょ内の水位予測機能を備えた管きょ内水位把握システムに関する技術資料」

「効率的・効果的な浸水対策に資するポンプゲート設備に関する技術マニュアル」

「蒸気間接加熱型汚泥乾燥機技術マニュアル」

「低圧損型メンブレン式散気装置の導入マニュアル」

「下水道由来肥料の利活用マニュアル」

「下水処理場におけるエネルギー自立の可能性調査研究

～ゼロ・エミッションを目指して～技術資料」

プログラムはこちら

<https://www.jiwet.or.jp/2019manual-program>

【東京会場】令和元年 6 月 21 日（金） 10：00～16：50

（会場）下水道機構 8 階会議室

【大阪会場】令和元年 6 月 25 日（火） 10：00～16：50

（会場）大阪科学技術センター401 会議室（大阪府大阪市西区靱本町 1-8-4）

【参加費】2,000 円（官公庁、公共団体等は無料）

※1. CD 版の技術マニュアルとテキストを配布いたします。

※2. 参加費は、銀行振込でお願いいたします。振込先は WEB 申し込み時の「参加証」に記載致します。当日会場での参加費お支払いはできませんのでご了承ください。

【定員】東京会場 80 名、大阪会場 120 名

※先着順となります。

※詳細及び参加申し込みはこちらから

→<https://www.jiwet.or.jp/manual-seminar2019>

。○。

●ウイスキーの魅力（のぶりんさんからの投稿です）

ウイスキーの製法には様々あります。例えば、ウイスキーの原型のニューポットの作り方や製法。ニューポットを詰める樽の条件。樽を寝かせる条件などなど。

ウイスキーの面白い所は、作り方や素材や保管の仕方で味が変わる所だと個人的には思います。ピートが効いた薬臭いものや、日本人の口にあうように作られたもの、スコットランドの作り方を日本でアレンジしたもの。地ビールならぬ地ウイスキーも沢山あります。調べて見ると意外な発見があるかもしれません。

商品の作り方にも沢山あって、地元で作る、複数の蒸留所で作ったウイスキーをブレンドする、他で樽詰めしたものを持ってきて保管を地元でする、他で作ったウイスキーを独自にブレンドして売るなどなど。

自分が好きなウイスキーを簡単に探すには、気になるメーカーの蒸留所に行って、試飲するのが良いと思います。特に有料試飲の方をオススメします。普段高くて躊躇するようなものも定価で少量で提供してくれますし、色々なウイスキーを経験できます。提供してくれる人にも色々相談に乗ってくれます。

気になるメーカーがない場合は、ウイスキーフェスティバルのようなお祭りに行って、色々なメーカーの色々なウイスキーを体験すると言うのも良いと思います。

ウイスキーフェスティバル 2018 in TOKYO の動画に私がでていたのは内緒です。

。○。

研究成果のおさらい （機構の研究成果（要約版）をご紹介します）

。○。

・下水汚泥由来肥料の安全安心性確認研究

食料の安定生産や自給率の向上が求められているなかで、下水汚泥が有する肥料としての価値は成分的、量的に今までにも増して重要視されています。下水汚泥肥料のより有効な利用を図るには肥料製造・施用・収穫に係る詳細な情報を広く提供していく必要があります。このために本研究は下水汚泥由来肥料の原料や製品に対する公的基準を満たす安全性と、作物栽培の実績に基づく有効性を検証し、活用マニュアルとして公開することを目的としています。

→ <https://www.jiwet.or.jp/2019-05-27-ab1>

・下水処理場における地域バイオマス利活用に向けた広報資料作成支援業務

地震災害は台風等と異なり発生時期や場所が予想できない自然災害であるため、発生後の迅速な初動対応が重要となります。さらに、最終的な情報発信先である住民に対する適切な行政情報の提供を想定することが必要です。本検討では、地震災害発生時の迅速な初動体制構築およびそれを踏まえた行政情報の住民への適切な提供に関する検討を目的に、既存文献等の収集及び課題の整理を実施しました。

→ <https://www.jiwet.or.jp/2019-05-27-ab2>

。○。

ピックアップ！機構情報

（下水道機構情報 Plus+ 16号の中から記事をご紹介します）

。○。

・第 377 回技術サロン

（平成 31 年度下水道事業予算等について 堂 蘭 洋 昭 氏）

平成 30 年に発生した 7 月豪雨や台風 21 号、北海道胆振東部地震等をはじめとした激甚災害で明らかになった課題に対応するため、重要インフラについて総点検を行い、対応策を取りまとめました。その結果、特に緊急に実施すべきハード・ソフト対策として平成 30 年度第 2 次補正予算から 3 年間で集中的に実施することとした「防災・減災、国土強靱化のための 3 か年緊急対策」について、平成 31 年度予算でも臨時・特別措置分を措置し対策を推進することとしています。

→ <https://www.jiwet.or.jp/2019-05-27-quarterly1>

WEB 版機関誌下水道機構情報 Plus+ 16 号（最新刊）はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/newsletter16>

下水道機構情報 Vol. 13 No. 28 2019. 1（最新刊）はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly28>

下水道機構情報 Vol. 13 No. 27 2018. 7 はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly27>

下水道機構情報は こちら

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly0>

ニューズレターは こちらから

<https://www.jiwet.or.jp/newsletter0>

審査証明技術全体は こちら

<https://www.jiwet.or.jp/examination0>

---

。 。 。

はしわたし（みなさまの情報交流の場です）

。 。 。

＼(^-^)皆さまからの情報提供をお待ちしております(^-^)/

提供はこちらまで→ [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

※テキストは原則 400 字以内。写真等は A4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

---

。 。 。

国からの情報

。 。 。

↓ここからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====

下水道ホットインフォメーション（2019. 5. 17 の情報です）

配信元：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課

企画専門官 山縣弘樹

大阪では川で食事ができるクルーズ船が増えているとのことで、下水道の整備が進み水がきれいになった、との記事が出ています（下記、参考情報）。こうした声は下水道を担当している一職員としてもとても嬉しいです。

さて、5 月 11 日（土）に、皇居マラソン大会（周回 5km×4 人程度でのリレー）があり、水管理・国土保全局等から多くの職員が参加するなかで、下水道部からも 3 チーム 13 名の韋駄天が疾走しました。

水局等から出走した 35 チーム中、下水道部のトップは 2 位、約 90 分

(石井調整官・山本研修員・神崎係長・吉野研修員・板倉係長(環境省))と好成績で、他の2チームも大いに健闘しました。出走した皆さん、お疲れ様でした!

国土交通省では新規採用職員の募集が始まっています。採用情報のFacebook(19日)に、下水道についても紹介されています。

[https://www.facebook.com/mlit.recruit/posts/2362550220472887?\\_\\_tn\\_\\_=-R](https://www.facebook.com/mlit.recruit/posts/2362550220472887?__tn__=-R)

★★★★★ 今週のヘッドライン ☆☆☆☆☆

○ 人口減少に対応した汚水処理システム効率化検討手法構築  
～処理施設の稼働率低下を踏まえたコスト・エネルギー算定が可能に～  
(国土技術政策総合研究所)

○ 公益事業学会 2019 年度全国大会 (in 名古屋) (公益事業学会)

---

○ 人口減少に対応した汚水処理システム効率化検討手法構築  
～処理施設の稼働率低下を踏まえたコスト・エネルギー算定が可能に～  
(国土技術政策総合研究所)

・ 記者発表資料 URL (5月20日付)  
<http://www.nilim.go.jp/lab/bcg/kisya/journal/kisya20190520.pdf>

(背景・経緯)

国総研では、中小規模の地方公共団体が有する様々な事業(下水道、農業集落排水、し尿処理)の汚水処理システムを効率化するために、システムの根幹となる汚水処理施設の統廃合を検討する際に参考となる「人口減少下での汚水処理システム効率化技術資料」を策定しました。

(技術資料の特徴)

地方公共団体の職員が、事業の垣根を越えた汚水処理システム効率化を自ら検討することができるように検討手法および具体的な検討例を記載しています。そこでは、人口減少を踏まえた概略検討をより正確に行うために必要な、中小規模処理施設を含む各汚水処理事業の費用関数や人口減少に伴う稼働率変化を踏まえたコスト・エネルギー算定手法の提示等の新たな知見を含んでいます。

(技術資料の公開)

技術資料は下記ホームページにおいて公開しています。

・ 下水道研究室 URL  
<http://www.nilim.go.jp/lab/ecg/topics/topics.htm>  
または  
・ 国総研資料 URL  
<http://www.nilim.go.jp/lab/bcg/siryou/tnn/tnn1071.htm>

○ 公益事業学会 2019 年度全国大会 (in 名古屋) (公益事業学会)

6月8日(土)に公益事業学会主催、名古屋市立大学都市政策研究センター共催で今後の上下水道事業について考えるワークショップ及びシンポジウムを開催します。

● 官民連携ワークショップ

「上下水道事業における官民連携の在り方について考える」

講演1 福田健一郎(新日本有限責任監査法人)

- 講演2 本橋直樹(三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社)  
講演3 川上貴幸(メタウォーター株式会社)

●シンポジウム

「これからの上下水道事業を考える

ー人口減少社会において公益事業はどのように対応すべきかー

コーディネーター：石井晴夫(東洋大学大学院経営学研究科客員教授)

パネリスト：是澤裕二(厚生労働省医薬・生活衛生局水道課長)

加藤裕之(東北大学特任教授、前・国土交通省下水道事業課長)

津田典幸(名古屋市上下水道局経営本部企画経理部長)

松葉秀樹(名古屋市上下水道局技術本部施設部長)

浦上拓也(近畿大学経営学部教授)

開催日時：2019年6月8日(土)

官民連携ワークショップ 10時～12時

シンポジウム 13時30分～17時

会場：名古屋市立大学桜山キャンパスさくら講堂

(名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1)

※地下鉄桜通線「桜山」駅下車3番出口よりすぐ

申込：不要

参加費：無料

問合せ：e-mail:nakayama@econ.nagoya-cu.ac.jp

(名古屋市立大学大学院経済学研究科 中山まで)

---

【参考情報】

◆ライフワークは水問題 水運から環境、防災へ <5/24 共同通信>

<https://www.47news.jp/news/3594142.html>

◆【特集】「水都大阪」の新観光名物に！？ 食事を楽しむ“クルーズ船”が増加中

<5/23 MBS ニュース>

<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20190523-00010003-mbsnews-127>

◆住民らが工事現場を見学 田谷町の下水道と圏央道 <5/23 タウンニュース>

<https://www.townnews.co.jp/0112/2019/05/23/481882.html>

◆都市の浸水予測システムを開発 <5/21 カナロコ>

<https://www.kanaloco.jp/article/entry-168870.html>

◆都の下水道技術、国内外に 雨のごみ 低コストで河川へ流入防ぐ <5/21 SankeiBiz>

> <http://www.sankeibiz.jp/macro/news/190521/mca1905210500002-n1.htm>

◆持続可能な水インフラと官民連携 (9) 群馬東部水道企業団、越塚信夫局長に聞く(上)

)、

官民連携で水道の将来を描ける人材確保を <Web ジャーナル Mizu Design>

<https://mizudesignjournal.com/finance/1722.html>

◆持続可能な水インフラと官民連携 (10) 群馬東部水道企業団、越塚信夫局長に聞く(下)

)、

広域化と官民連携の両輪で事業改革 <Web ジャーナル Mizu Design>

<https://mizudesignjournal.com/infra/1732.html>

◆水インフラには総合診療医が必要だ こんなにある！ 医療との共通点 打開策のヒントも<Web ジャーナル Mizu Design>

<https://mizudesignjournal.com/column/1736.html>

◆【書評】『町自慢、マンホール蓋700枚。』池上修、池上和子・著 <5/24 SankeiBiz> <https://www.sankeibiz.jp/smp/econome/news/190524/ecf1905240500003-s1.htm>

◆「仮面ライダージオウ」、釈由美子ゲスト回で“マンホール激推し”のカオス展開「マンホール」がトレンド入りする事態に <5/19 ねとらぼ>

[https://news.biglobe.ne.jp/it/0519/nlb\\_190519\\_4632002417.html](https://news.biglobe.ne.jp/it/0519/nlb_190519_4632002417.html)

=====

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<https://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

○メルマガ配信停止はこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>

○ニューズレターはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/newsletter0>

○はしわたしのバックナンバーはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/hashiwatashi>

○ゆいまーるのバックナンバーはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/publicity/yuimaru>